

**2025 年度「茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会」総会を開催****～「第2回いばらきの地震・風水害に『備える』を考える日」in水戸 の開催を決定～**

日本損害保険協会 関東支部 茨城損保会(会長：柴尾 哲也 三井住友海上火災保険株式会社 茨城支店長)では、茨城県と協働して「茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会」(※1)で地震リスク(※2)の正しい理解や、いつ発生してもおかしくない大地震(※3)に対する必要な備えをしてもらうために、普及啓発活動に取り組んでおります。

近年の相次ぐ台風や大雨等、自然災害が多発する状況を踏まえ、2025年9月3日(水)に、県庁・災害対策本部室にて、同協議会令和7年度総会を開催し、県民への周知・啓発活動に努めることを決議しました。本総会において、柴尾損保会長が今年度の協議会会長に選出され、茨城県は地震リスクが高いとされているにも関わらず、地震保険の付帯率が低いことに言及し「我が国では『いつでもどこでも』大規模な地震や台風等の自然災害が起こりうること、また茨城県は地震や風水災リスクが高いため備えが必要なことから、県民の自助をより一層促進するためにも、災害に備える保険・共済が有効な自助の手段の一つであることを理解いただけるよう取り組んでいきたい。」との挨拶がありました。次に、昨年度の事業報告、今年度の事業計画を決定し、最後に県 横山防災・危機管理部長より挨拶がありました。

当協議会では、地震・風水害リスクを県民に周知するための今年度の主たる事業として、昨年つくば市で実施した第1回に引き続き、「第2回いばらきの地震・風水害に『備える』を考える日」を、11月15日(土)に水戸市で実施することなどを決定しました。今年度も引き続き、地震等災害保険・共済の加入促進に向けて、官民一丸となって取り組んでいきます。

(※1) 茨城県では、「茨城県地震保険・共済加入促進協議会」を平成29年6月に保険や共済団体と連携して設立。同協議会の会長は総会で選出される。茨城損保会長が歴代選出されており、事務局については、会長選出団体である一般社団法人 日本損害保険協会 関東支部が務める。

(※2) 茨城県 2024年度地震保険の付帯率は、66.7% (全国第38位) 全国平均70.4%  
2024年度地震保険の世帯加入率は、32.1% (全国第27位) 全国平均35.4%  
2023年度地震保険の水災補償付帯率は、56.8% (全国第45位) 全国平均63.0%

(※3) 茨城県水戸市は、30年以内に震度6弱以上の自然災害が発生する確率は81%と、全国で一番高い。



挨拶する柴尾会長



総会の様子

柴尾会長(左)と  
横山防災・危機管理部長(右)